

平成 26 年度第 1 回佐倉市入札監視委員会議事概要

日 時	平成 26 年 7 月 30 日 (水) 午前 10 時 00 分～正午
場 所	佐倉市役所 議会棟 2 階 第 2 委員会室
出席者	<委 員> 湯川委員、野村委員、櫛田委員 <事務局> 契約検査室 <担当課> 資産管理経営室・課税課・子育て支援課・防災防犯課
【議事概要】	
○委員長の選出について 委員の互選により湯川委員を委員長に選出しました。	
○委員長職務代理者の指名について 委員長の指名により野村委員を委員長職務代理者としました。	
○議題 1 入札・契約の手続きの運用状況等について 平成 25 年 10 月から平成 26 年 3 月までに実施した一般競争入札・随意契約・低入札価格調査実施案件及び指名停止業者について、事務局から報告をしました。	
[主な質疑]	
(質問)	入札不調のケースが新聞等で報道されているが、佐倉市ではどのような対策をしているのですか。
(回答)	できるだけ直近の単価を採用するようにしています。幸いにして、土木関係では不調はありませんが、建築一式工事で不調が生じています。
(質問)	指名停止を受けた業者のなかで、佐倉市内の業者はありますか。
(回答)	ありません。
(質問)	学校給食の契約辞退で指名停止となった事案について、最初から低価格で請け負っていたということはありませんか。
(回答)	その時の落札率は 90.2%でした。給食業務に関しては、人件費がほとんどであるため、落札率は高めです。従前受注していた案件が受注できず、今回の案件の地区が従前の地区と離れており、人の確保が難しかったと聞いています。違約金が高額なため損失が大きいのではとお話ししましたが、履行できないとのことで辞退することでした。

○議題2 制限付き一般競争入札参加資格の設定経緯等について

平成25年10月から26年3月までに実施した一般競争入札・随意契約の中から当番委員が抽出した6件の案件について、事業担当課職員による事業説明及び質疑応答を行いました。

[主な質疑内容]

案件①佐倉市立西志津小学校体育館改築建築工事（一般競争入札）

（質問） 高額な案件であり、落札業者がこの案件のみ落札している理由はどのように考えますか。

（回答） 佐倉市の学校施設において過去に落札した実績ある業者です。労務単価の高騰、材料費の高騰、労働力確保が難しくなっており、業者も参加する案件を絞ってきている傾向にあるためと考えています。

（質問） この案件のような高額案件に対応できる市内の業者は、何者ありますか。

（回答） 総合評定値800点以上ということで公告をしており、市内では3者あります。そのうちの1者がこの案件に参加しています。

案件②佐倉市消防団第1分団3部機庫外1棟解体及び建築工事（随意契約）

（質問） 高額な案件で落札率100%となっている理由はなぜでしょうか。

（回答） 1度入札公告を行いました。参加業者がなく取りやめとなり、随意契約として発注をしました。8号随意契約の場合は工期を除いて条件を変えられないため、一般競争入札時に公告内で予定価格を公表しているため、公告を見ていた業者は予定価格を把握できたものと考えます。

（質問） 一般競争入札時に入札しなければ随意契約になり、100%で受注できるということで、最初の入札に参加しない場合もあるのではないですか。

（回答） 随意契約において、市内の建築業者すべてに参加を促しているため、当初の公告を見逃した業者もいると推測され、そのようなことは生じないものと考えます。

（質問） 入札参加のない案件も増えているのでしょうか。

（回答） 昨年、一昨年くらいから生じています。

案件③佐倉市立南部中学校第1-1棟・第1-2棟改築及び第12棟改修設計業務委託（一般競争入札）

（質問） 落札率が低いようですが、どのように考えますか。

(回答) 設計については、県の積算単価を使用しており、適正なものと考えます。耐震補強設計の発注が、県内でもほぼひと段落しており、設計の発注件数が減っていることから、今回の案件で33者の入札参加があり、競争が生じた結果と考えています。

(質問) 低入札基準価格を上回っている業者が2者しかいない状況ですが、このようなことはよくあることですか。

(回答) 人件費がほとんどであるため、自社社員を使っている業者は、入札価格を低く入れることができるものと思われれます。公共施設の実績を作りたいということもあると思われれます。

(質問) 33者のうち、市内業者は入っていますか。

(回答) 市内業者は参加しておりません。これくらいの規模の設計となると個人で設計することは難しいためと考えています。

案件④佐倉市航空画像データ撮影及び写真データ作成業務委託(随意契約)

(質問) 落札率が高いようですが。

(回答) 設計金額は国や県の公表された単価を使用していることから、業者は市と同様な設計をすることができるものと考えます。また、過去に同様の契約を何度も実施していることから、業者は予定価格が推察できるものと思われれます。さらに、予定価格を設計金額から作成する際、業者が請負える額を想定して設計金額から差し引いて予定価格を作成していることから、予定価格は見積額に近くなり、落札率が高くなる傾向があります。今回の案件については、落札率98.92%ですが、設計金額との比較であれば、95.96%であり、3%ほど下がります。

(質問) この業務委託は毎年行っているのですか。

(回答) 評価替えをする時期に合わせて、3年おきに実施しています。

(質問) 航空写真とデータ作成を分けて発注することができないのですか。

(回答) 分割した場合、航空写真を撮ってからデータ作成の発注を行うこととなるため、評価替えの年の1月1日以降に航空写真を撮影し、3月末までにデータを整備するには時間が足りないものと考えます。

案件⑤南志津保育園冷蔵庫購入(一般競争契約)

(質問) 落札率が低い理由は、どのように考えますか。

(回答) 標準品と同等以上の品を可としていること、大型物品ということで受注生産を想定

して設計をしておりましたが、同じ規格での在庫品があったからと考えます。

(質問) 今回導入された冷蔵庫は品質に問題はありませんか。また、型は古いのでしょうか。

(回答) 品質に問題はありません。既存製品と同じ程度のものを予定していたので、最新型である必要はありませんでした。

(質問) 今回在庫品があったからということですが、金額が4分の1になっています。かなり古いものということはありませんか。

(回答) 同等品を認定する際、大きさと内容量と出力を確認して認定をしていますことから、在庫品であっても、短期間であれば問題ないと考えます。

案件⑥台風26号に伴う災害対応対策等業務委託(随意契約)

(質問) 高額な案件で落札率が高いですが、どのように考えますか。

(回答) 台風26号の被害が広範囲におよんで、非常に大きかったことが高額な案件となったものと思われます。落札率については、佐倉市建設業災害対策連絡協議会と災害時の応急対策業務の協力協定を締結し、その中で事前に業務単価を設定していることから、100%となっています。

(質問) 協議会内での仕事の割り振りはどのように行っているのでしょうか。

(回答) 災害が起こり、協議会内の事務局が各業者に連絡をして対応してもらっています。事務局もできるだけ均等になるように割り振っていますが、市の工事発注が減っていることもあり、災害対応を断るところもあると聞いています。市内の業者として協定を締結しているので、できるだけ協力いただくようお願いしています。

(質問) 協定内での業務単価の金額設定に問題はないのでしょうか。

(回答) 協定内の業務単価は、県の積算基準をもとに積算したもので協定しています。

(質問) 台風26号に伴う災害対応対策等業務委託が、この案件のほかに下水道課と道路維持課からも出ていますが、これはどのように考えるべきですか。

(回答) 台風26号の被害が非常に大きかったため、応急復旧だけではなく本復旧工事が必要になりました。防災防犯課については、あくまでも応急復旧工事についてまでを行っています。

以上